

平成24年度社会貢献プロジェクト

つくさか地域食育支援プロジェクト

附属坂戸高等学校 小林美智子(副校長)・黒岩健一(実習助手)・渋木陽介(教諭)・嶋田昌夫(教諭)・白石充(実習助手)

1. 事業の概要

本プロジェクトは、筑波大学附属坂戸高等学校におけるこれまでの農業教育の実績を原資として、坂戸市内の小中学校で行われている食育活動を支援しようとするものである。近年、小中学校での食育の取り組みが浸透し、多くの学校で、食育の基本となる農業体験学習が行われている。しかし、専門性のある教員が居ない小中学校では、農業体験学習の成果を十分に得ることができない状況が見られる。そこで本プロジェクトでは、小中学校

における様々な食育活動を支援することを目的に、坂戸市教育委員会を通じて、近隣の小中学校への農業体験学習の指導や、本校をフィールドとした農業体験授業の実施、また給食食材の提供や職員研修などを行っている。

※「つくさか地域食育支援プロジェクト」の「つくさか」とは、本校の愛称であり、校内のみならず、地域からも親しみを込めて「つくさか」と呼ばれている。

2. 実施内容及び成果

(1) 小学校2年生総合学習における野菜栽培学習

2012年4月～12月、坂戸市立南小学校内の菜園で実施。1学期はトウモロコシとナス・ピーマン・トマトの栽培を本校教員が指導した。2学期にはダイコン栽培の指導を、本校3年次生の農業科目と連携させながら実施した。また、12月の最終会では、小学生の保護者も交えて収穫祭を行った。



(2) 小学校5年生総合学習における野菜栽培学習

2012年5月～12月、坂戸市立坂戸小学校内の菜園で実施。1学期はナス科・ウリ科など果菜類の栽培、2学期にはアブラナ科を中心とした葉根菜の栽培を指導した。



(3) 小学校2年生の農場探索学習

2012年6月24日、本校農場において実施、本校教員と生徒が農場をフィールドとした農業動植物観察学習を指導した。



(4) 小学校教員への農業体験研修

2012年8月3日、本校農場において実施、坂戸市立坂戸小学校の職員研修として、野菜の栽培管理・収穫作業を本校教員が指導した。



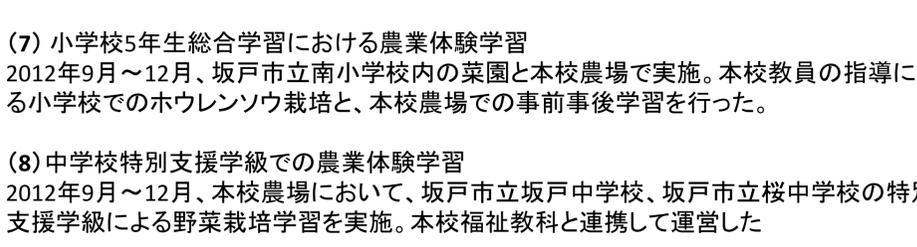
(5) 夏休み食育体験教室の開催

2012年8月、坂戸市社会福祉協議会との共催で、食育体験教室を開催。小学生18名が参加し、本校教員の指導で、家畜の管理と食品加工(手打ちパスタ作り)を実施した。



(6) 中学校給食委員生徒による給食食材の種まき

2012年8月9日、坂戸市立坂戸中学校給食委員の生徒による、ハクサイ・ブロッコリー等の種まきを実施。中学校給食用に栽培予定の野菜類の種まきを本校生徒の指導で行った。により、地元野菜を使った給食を実現した。また、中学校給食委員生徒による収穫体験学習も行った。



(7) 小学校5年生総合学習における農業体験学習

2012年9月～12月、坂戸市立南小学校内の菜園と本校農場で実施。本校教員の指導による小学校でのハウレンソウ栽培と、本校農場での事前事後学習を行った。

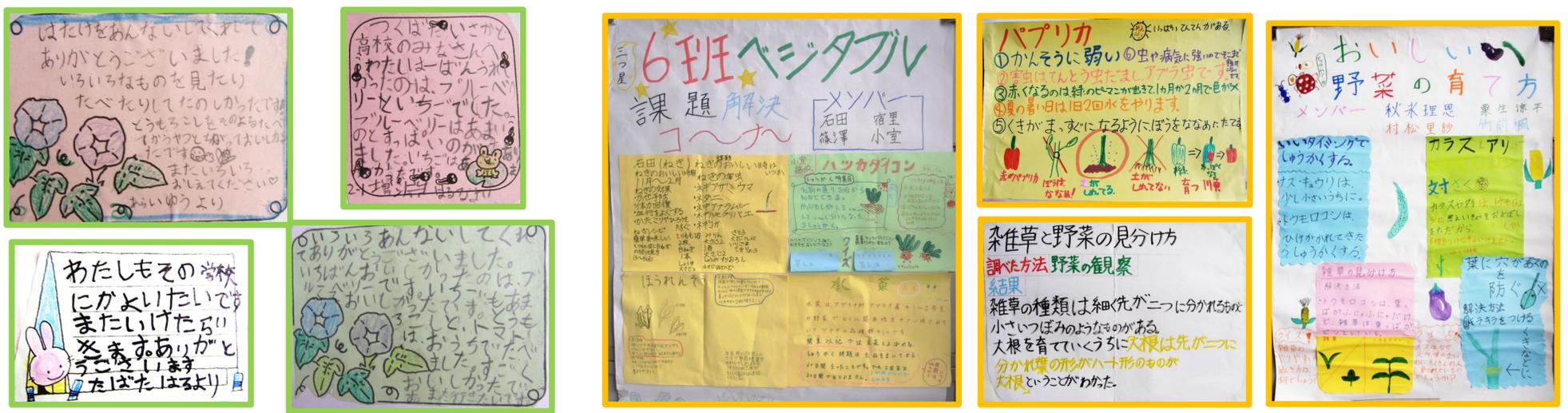


(8) 中学校特別支援学級での農業体験学習

2012年9月～12月、本校農場において、坂戸市立坂戸中学校、坂戸市立桜中学校の特別支援学級による野菜栽培学習を実施。本校福祉教科と連携して運営した



3. 子ども達の反応



【2012年6月24日農場探索学習を終えて・坂戸市立南小学校2年生】

【2012年度総合学習成果発表・坂戸市立坂戸小学校5年生】

4. 今後の展望

取り組みを開始してから3年、筑波大学の社会貢献プロジェクトとしては実施2年目になる本プロジェクトは、今年度も提携先の各小中学校からは引き続き高い評価を得ることができた。しかし、地域内の認知度も一層高くなっている反面、新たな支援の要請に応えきれない

状況が見られはじめた。今後は、プロジェクトの効率的な運用と支援規模のバランスを図りつつ、できるだけ多くの小中学校を対象とできるように、継続的で効果的なプロジェクト展開を目指したいと考えている。